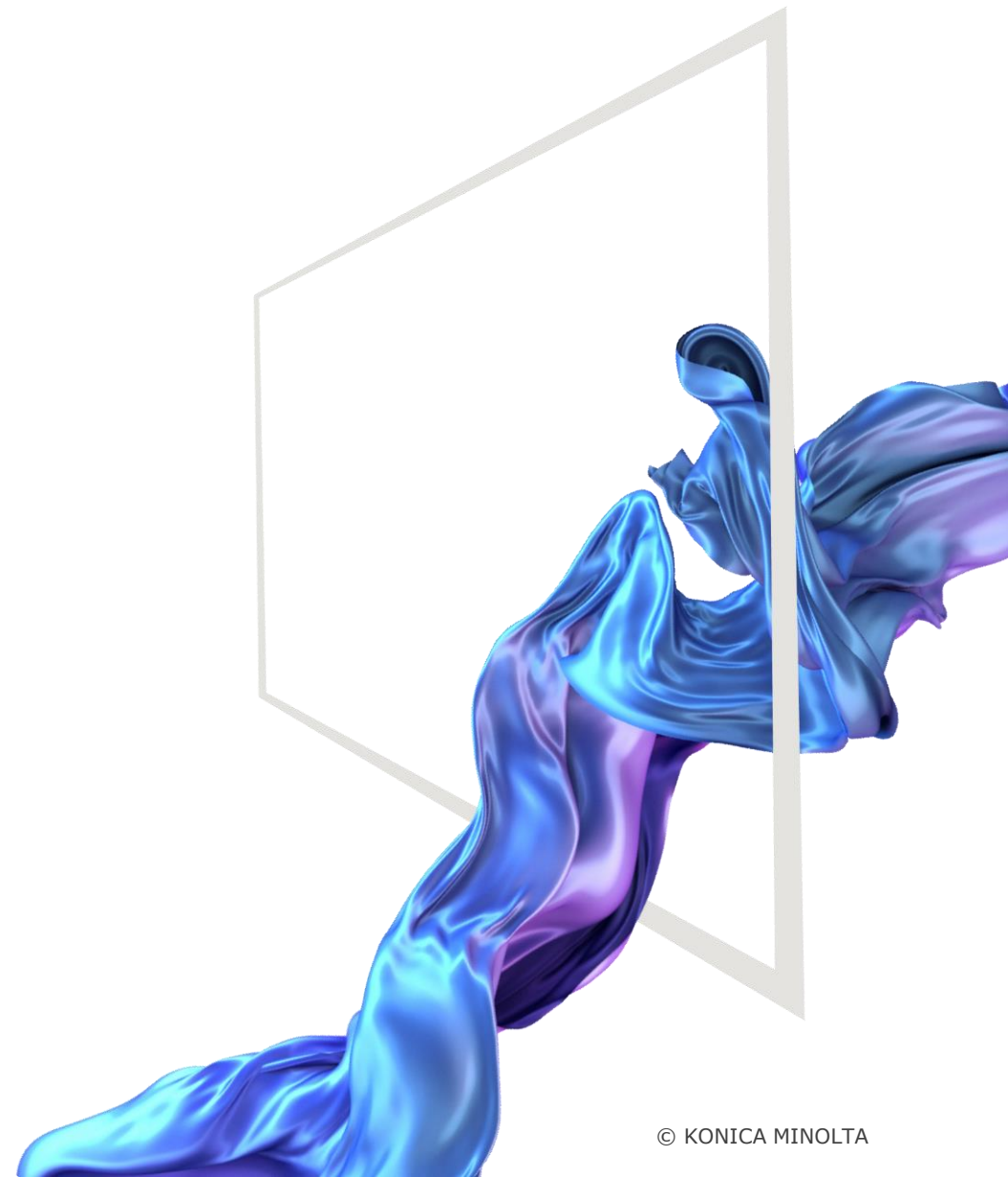


コニカミノルタ株式会社 2024年3月期（2023年度） 第2四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2023年11月2日



FY23 2Q実績

- 対前年同期：全社では2Q 増収減益、上期累計 増収増益
- 事業貢献利益：2Q 64億円、上期累計23億円で黒字化
（営業利益：2Q 52億円、上期累計 8億円で黒字化）
増加：オフィス、プレジジョンメディシン
減少：プロダクションプリント、センシング
- 対計画：全社として想定をやや上回る

中期経営計画の進捗

- 事業の選択と集中：
 - 非重点事業：光学コンポーネント事業における戦略的業務提携
 - 方向転換事業：評価基準を基に、23年度予算実行状況を鑑み継続検討中
- 財務基盤の強化：
 - 運転資本圧縮による営業CFの黒字化（+318億円）

2023年度 2Q業績



2023年度 2Q業績 | 全社サマリー

2Q 売上高 (含む為替影響)

- 全社では増収
- 事業別 増収：デジタルワークプレイス、インダストリー
減収：プロフェッショナルプリント、ヘルスケア

2Q 利益・キャッシュフロー

- 販売管理費：賃上げによる人件費増加も販売管理費をコントロールし、実質前年並み
- 事業貢献利益*：生産コストダウン、物流費減等による売上総利益率の改善、黒字化
- FCF：営業CFの良化により大幅増

【億円】

	2023年度 上期	対前年			2023年度 2Q	対前年		
		2022年度 上期	前期比	為替影響を除く 前期比		2022年度 2Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	5,528	5,307	+4%	△ 1%	2,864	2,829	+1%	△ 4%
売上総利益 (売上総利益率)	2,372 42.9%	2,260 42.6%	+5%	△ 1%	1,253 43.8%	1,213 42.9%	+3%	△ 3%
販売管理費	2,350	2,253	+4%	+0%	1,190	1,146	+4%	△ 1%
事業貢献利益	23	7	+211%	△ 312%	64	67	△ 4%	△ 47%
営業利益	8	△ 51	-	-	52	59	△ 11%	△ 60%
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 45	△ 67	-	-	11	20	△ 46%	-
FCF	94	△ 254	-	-	202	△ 5	-	-
為替レート (円)								
USドル	141.00	133.97	+7.03		144.62	138.37	+6.25	
ユーロ	153.39	138.73	+14.66		157.30	139.34	+17.96	

* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

2023年度 2Q業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	FY23 上期	対前年			FY23 2Q	対前年		
		FY22 上期	前期比	為替影響を除く		FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	2,945	2,785	+ 6%	△ 0%	1,512	1,496	+ 1%	△ 5%
プロフェッショナルプリント事業	1,240	1,199	+ 3%	△ 1%	638	648	△ 1%	△ 6%
ヘルスケア事業	639	640	△ 0%	△ 3%	345	353	△ 2%	△ 5%
インダストリー事業 *1	694	673	+ 3%	△ 0%	362	325	+ 11%	+ 8%
コーポレート他 *1	10	11	△ 8%	△ 8%	6	7	△ 19%	△ 19%
全社合計	5,528	5,307	+ 4%	△ 1%	2,864	2,829	+ 1%	△ 4%

事業貢献利益	FY23 上期	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2			FY23 2Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 上期	前期比	為替影響を除く			FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	107	4%	73	+ 48%	+ 17%	84	6%	74	+ 12%	△ 11%
プロフェッショナルプリント事業	36	3%	38	△ 5%	△ 45%	28	4%	36	△ 22%	△ 49%
ヘルスケア事業	△ 40	-	△ 78	-	-	△ 8	-	△ 21	-	-
インダストリー事業 *1	60	9%	122	△ 51%	△ 55%	34	10%	52	△ 34%	△ 40%
コーポレート他 *1	△ 141	-	△ 148	-	-	△ 75	-	△ 76	-	-
全社合計	23	0%	7	+ 211%	△ 312%	64	2%	67	△ 4%	△ 47%

営業利益	FY23 上期	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2			FY23 2Q	率	対前年（本社費等配賦調整後） *2		
			FY22 上期	前期比	為替影響を除く			FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	100	3%	27	+ 266%	+ 187%	80	5%	70	+ 15%	△ 10%
プロフェッショナルプリント事業	37	3%	35	+ 5%	△ 38%	27	4%	36	△ 24%	△ 51%
ヘルスケア事業	△ 43	-	△ 86	-	-	△ 9	-	△ 23	-	-
インダストリー事業 *1	55	8%	121	△ 54%	△ 59%	29	8%	52	△ 45%	△ 50%
コーポレート他 *1	△ 142	-	△ 149	-	-	△ 76	-	△ 76	-	-
全社合計	8	0%	△ 51	-	-	52	2%	59	△ 11%	△ 60%

*1 FORXAIの売上高・事業貢献利益・営業利益は、FY22はインダストリー事業、FY23はコーポレート他に含む。本資料ではFY22もコーポレート他に組み替えて表記。

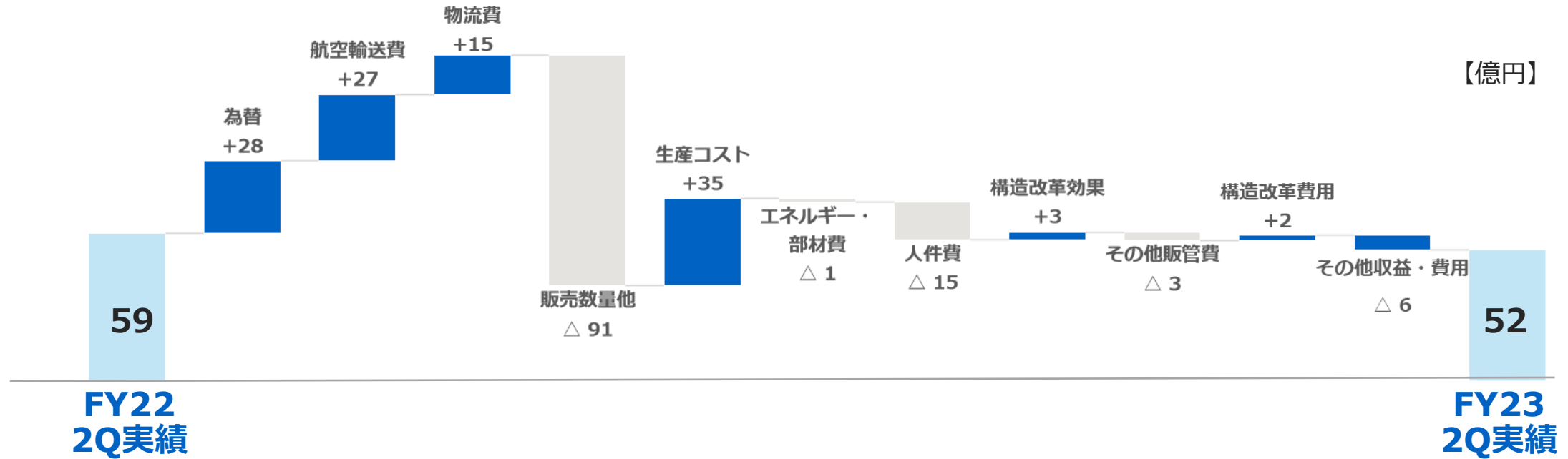
*2 本社費等配賦調整：全社に関わる一部費用を、2022年度まで事業セグメントに配賦をしていたが、2023年度から見直しを実施。

表中の値は、参考として2022年度実績の費用配賦を2023年度の基準に調整した後の値。

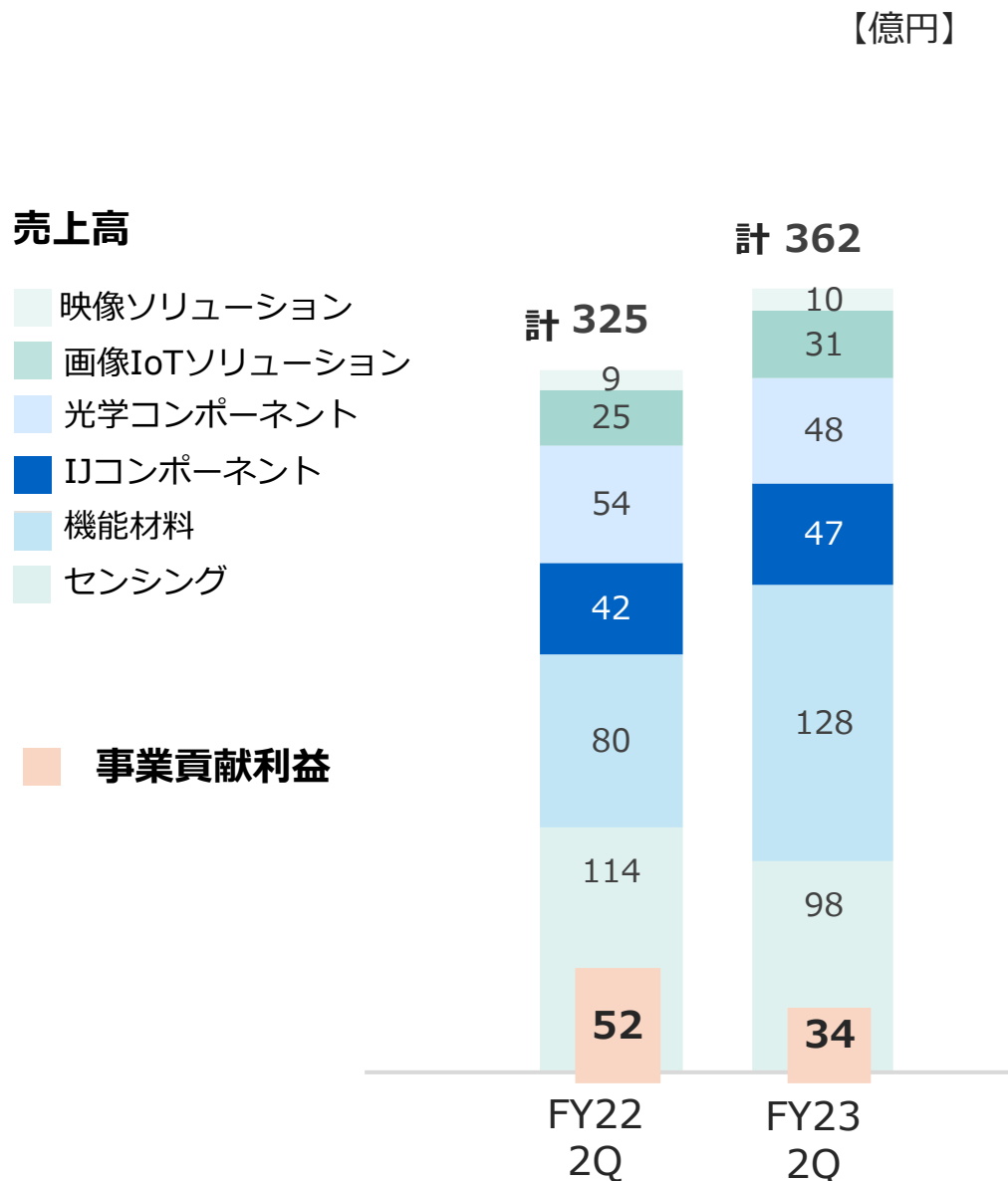
デジタルワークプレイス事業とプロフェッショナルプリント事業の共通費配賦調整を含む。

2023年度 2Q業績 | 営業利益の増減要因 (2Q)

【億円】



	事業貢献利益成分											その他収益成分	
	FY22 2Q実績	為替	航空輸送費	物流費	販売数量他	生産コスト	エネルギー・部材費	人件費	構造改革効果	その他販管費	構造改革費用	その他収益・費用	FY23 2Q実績
デジタルワーク	70	+17	+13	+15	△53	+20	-	△12	+3	+6	+1	+0	80
プレイス事業	36	+10	+14	-	△29	+2	+1	△4	-	△2	-	△0	27
プロフェッショナル													
プリント事業													
ヘルスケア事業	△23	△1	-	-	+6	+8	△2	+2	-	△0	+1	△0	△9
インダストリー事業	52	+2	-	-	△14	+4	-	△1	-	△9	-	△5	29
コーポレート他	△76	+0	-	-	△1	-	-	-	-	+2	-	△1	△76
合計	59	+28	+27	+15	△91	+35	△1	△15	+3	△3	+2	△6	52



【売上高】 (対前年同期)

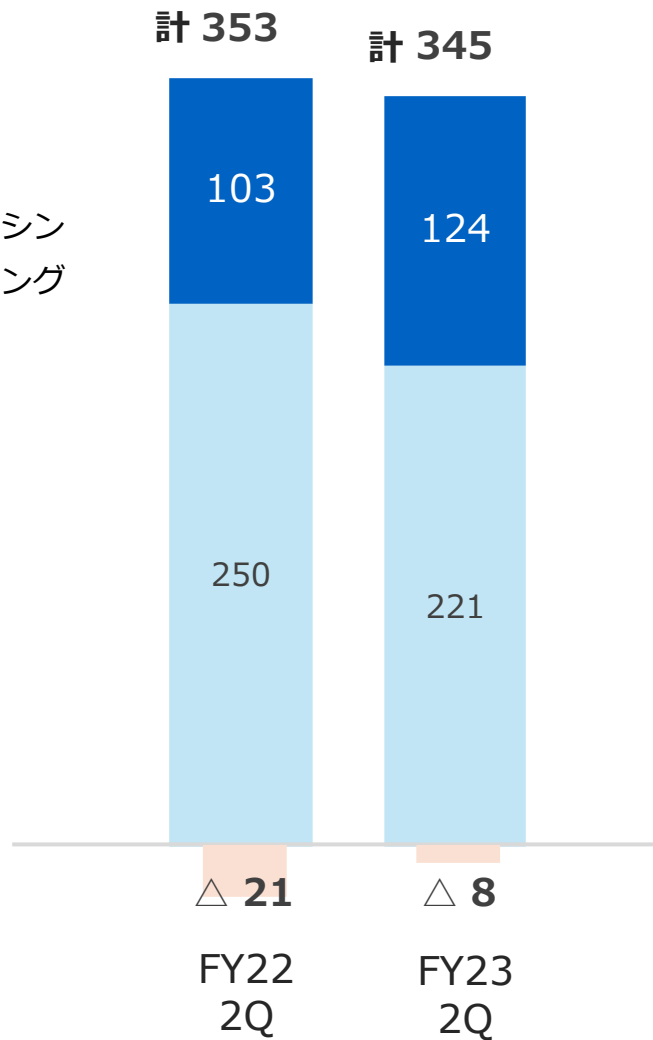
センシング	<ul style="list-style-type: none"> 光源色：ディスプレイ設備投資抑制の影響により、大手顧客を中心に需要低調 物体色：堅調維持 自動車外観計測：日本含むアジアで拡大し好調
機能材料	<ul style="list-style-type: none"> TV（VA位相差）：市況回復による販売増に加え、大型TV向け「SANUQI」フィルムも伸長 IT/スマホ（薄膜）：サプライチェーン余剰在庫調整が進捗
IJコンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> サイングラフィックス向けヘッド好調
光学コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> 市況影響によりプロジェクタ用レンズが停滞
画像IoTソリューション	<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラソリューション：欧米販社の売上増加 米国のシステムインテグレーターForce Securityを買収
映像ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> プラネタリウム直営館：コロナ前水準への回復遅れ
【事業貢献利益】	
インダストリー事業	<ul style="list-style-type: none"> IJコンポーネント、機能材料：増益 センシング：減益

【億円】

売上高

- プレシジョンメディシン
- メディカルイメージング

事業貢献利益



【売上高】

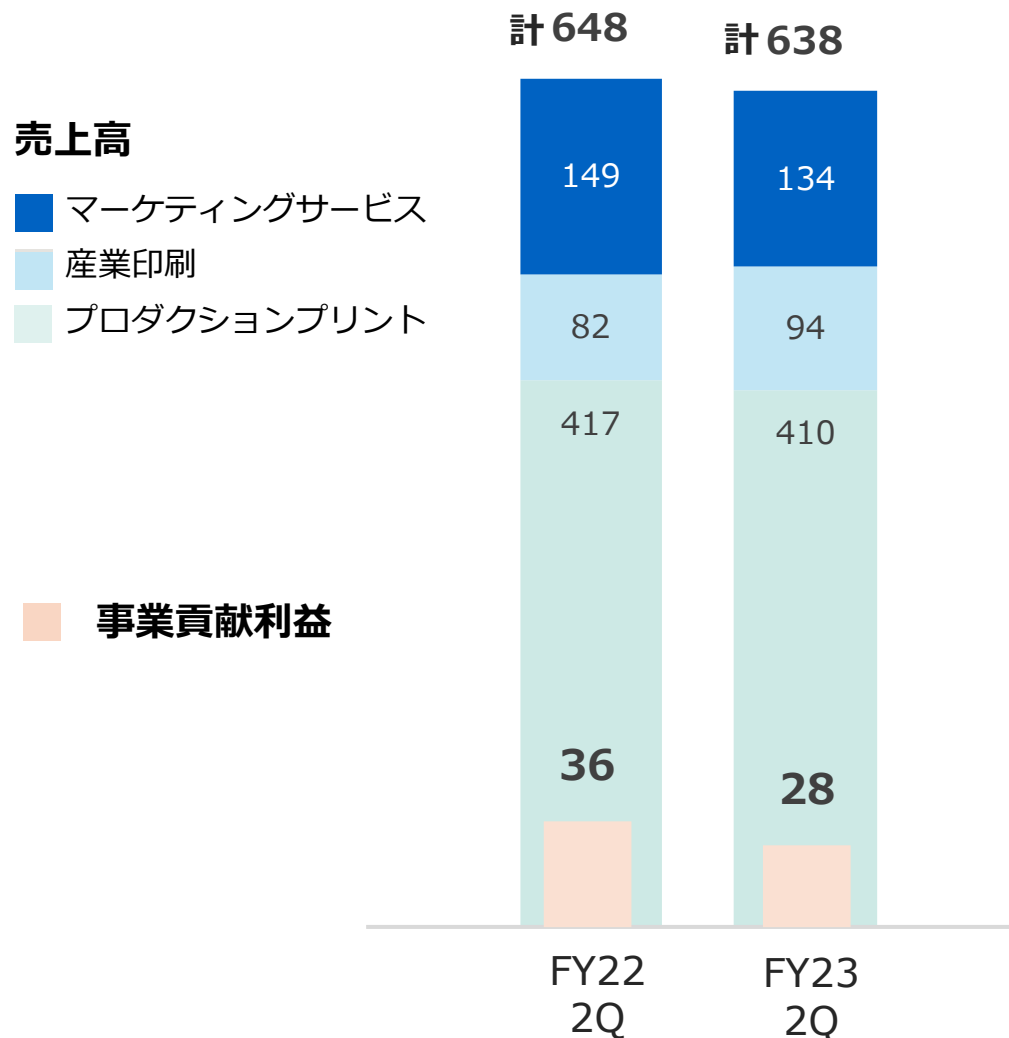
(対前年同期)

メディカルイメージング	<ul style="list-style-type: none"> • X線：日本は病院市場で減少、診療所市場は好調、米国は投資抑制で病院市場で減速 • 動態解析：高付加価値化を背景に米国で伸長 • 超音波：日本の整形外科、産婦人科とアジアで伸長
プレシジョンメディシン	<ul style="list-style-type: none"> • 遺伝子検査：受領サンプル数増加によるAmbry個社黒字継続 • 創薬支援：前臨床と治験試験の受託拡大によりInvicro個社黒字化 • 国内事業：GenMineTOPパネル検査が8月からサービス開始

【事業貢献利益】

ヘルスケア事業	<ul style="list-style-type: none"> • メディカルイメージング：減益 • プレシジョンメディシン：赤字大幅改善
---------	--

【億円】



【売上高】

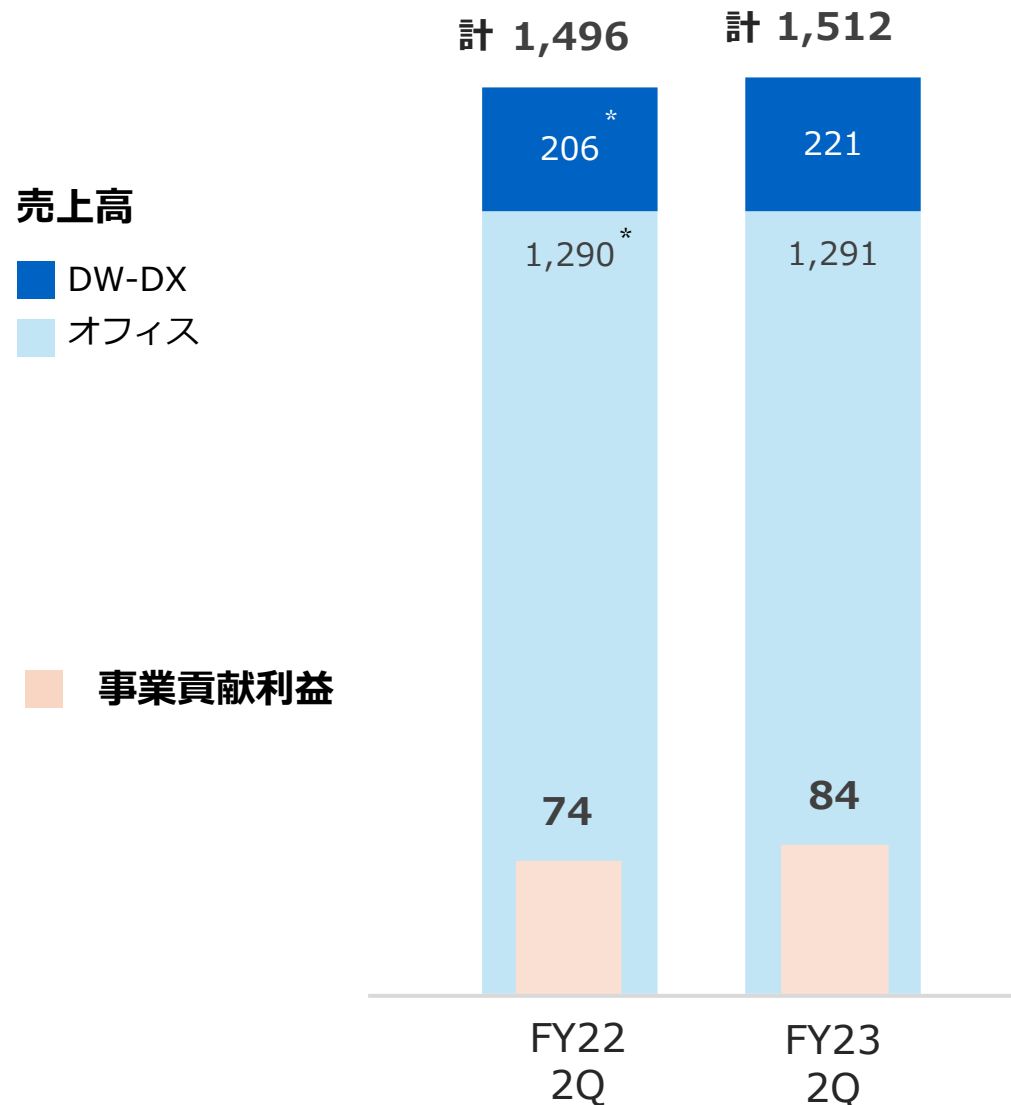
(対前年同期)

プロダクションプリント	<ul style="list-style-type: none"> ハード：88% カラー機台数 85% (HPP140%) モノクロ機台数 79% ノンハード：97% 欧米減少、中印好調
産業印刷	<ul style="list-style-type: none"> ハード：KM-1、ラベル印刷などで台数増加 大型印刷機の設置一部遅れ ノンハード：QoQで売上増加を継続

【事業貢献利益】

プロフェッショナルプリント事業	<ul style="list-style-type: none"> プロダクションプリント：減益 産業印刷：赤字改善 マーケティングサービス：増益
------------------------	---

【億円】



【売上高】

(対前年同期)

オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ハード：89% A3カラー機台数 81% (A4 131%) A3モノクロ機台数 52% ノンハード：95% 日米欧で減少、中印で増加
DW-DX	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化サービス (IIM事業*)：好調 IT管理サービス (IMS事業*)：米国で減速

【事業貢献利益】

デジタルワークプレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> オフィス：生産コストコストダウン効果、物流費、航空輸送費減少などによる増益
---------------	---

IIM事業*：ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供する事業
IMS事業*：IT管理サービスを提供する事業

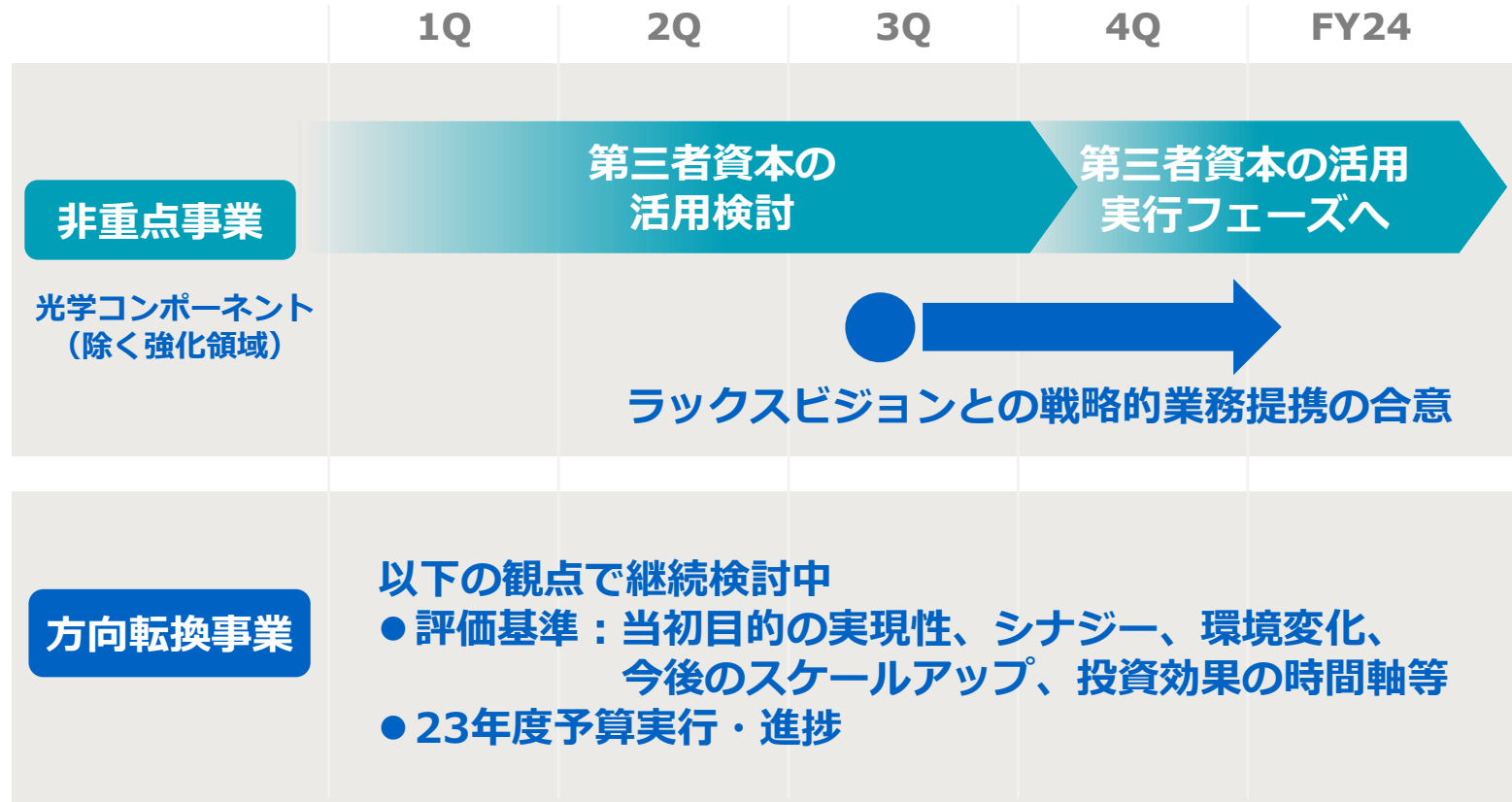
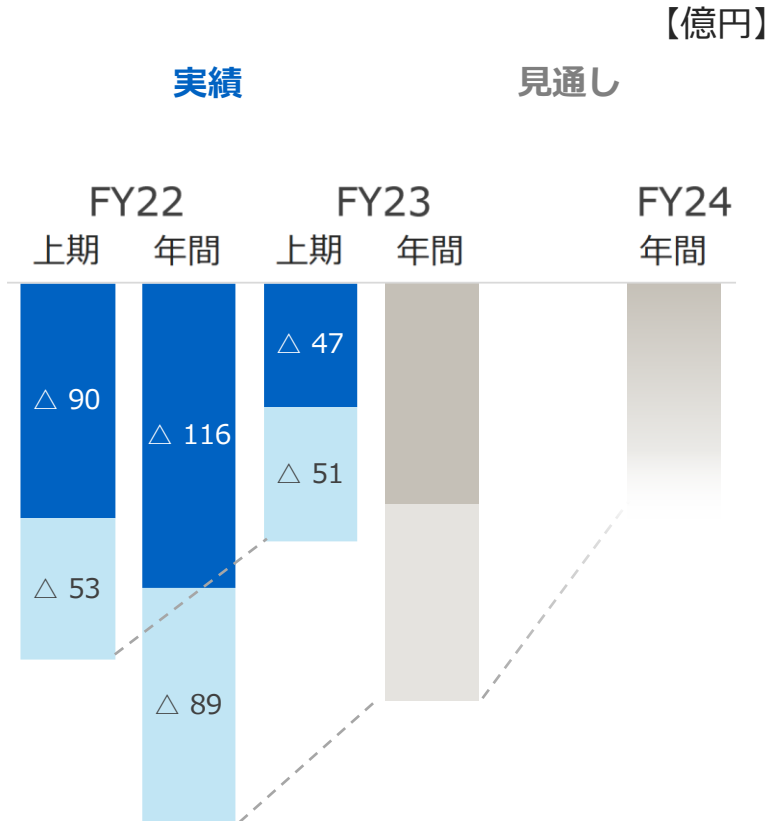
*FY22の売上高は、MFPに付随するアプリケーション・サービスに関連する売上の組み換え含む。

中期経営計画の進捗



事業貢献利益 推移

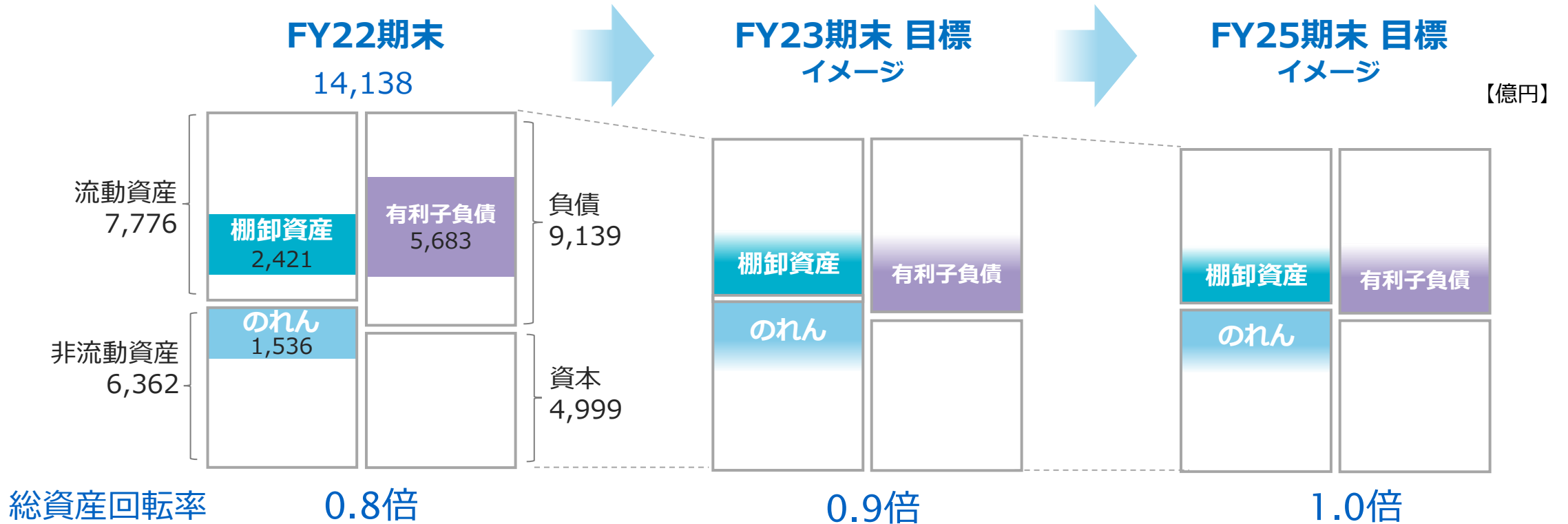
事業の選択と集中の進捗



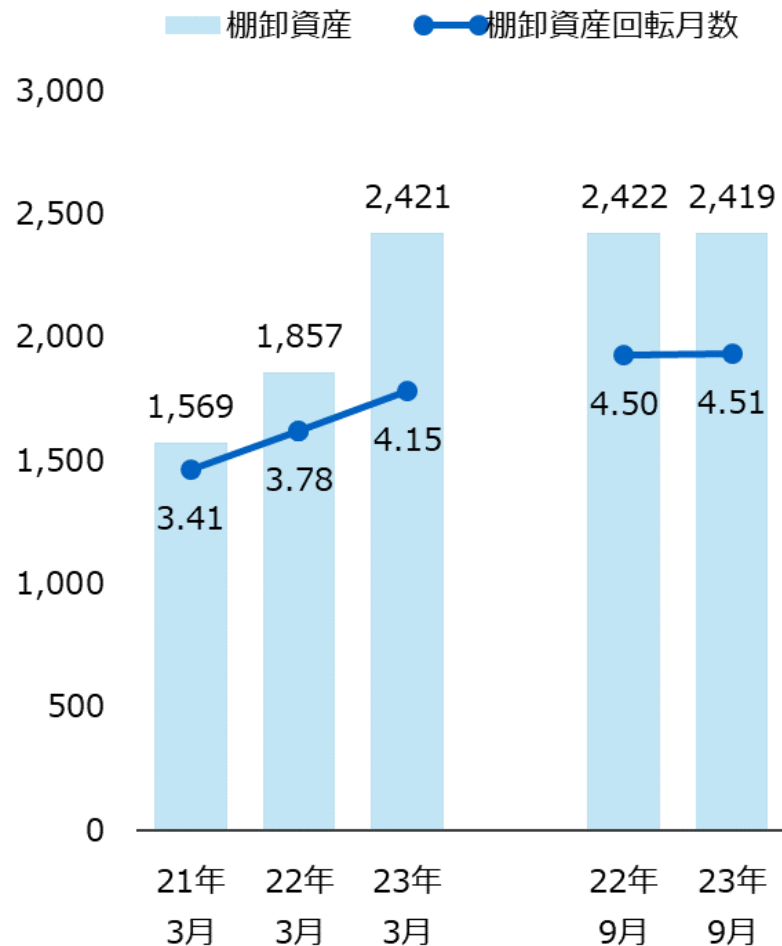
■ 非重点事業* ■ 方向転換事業

* 非重点事業：プレジジョンメディシンとマーケティングサービスの合算値

目標	<ul style="list-style-type: none"> 総資産回転率：1.0倍(FY25期末)
FY23 2Q までの成果	<ul style="list-style-type: none"> 総資産：借入金返済・運転資本等の圧縮△360億円（為替影響除く△1,166億円） 棚卸資産：完成品在庫の削減、安全在庫の適正化 △2億円（為替影響除く△139億円） 営業債権：+43億円（為替影響除く△180億円）

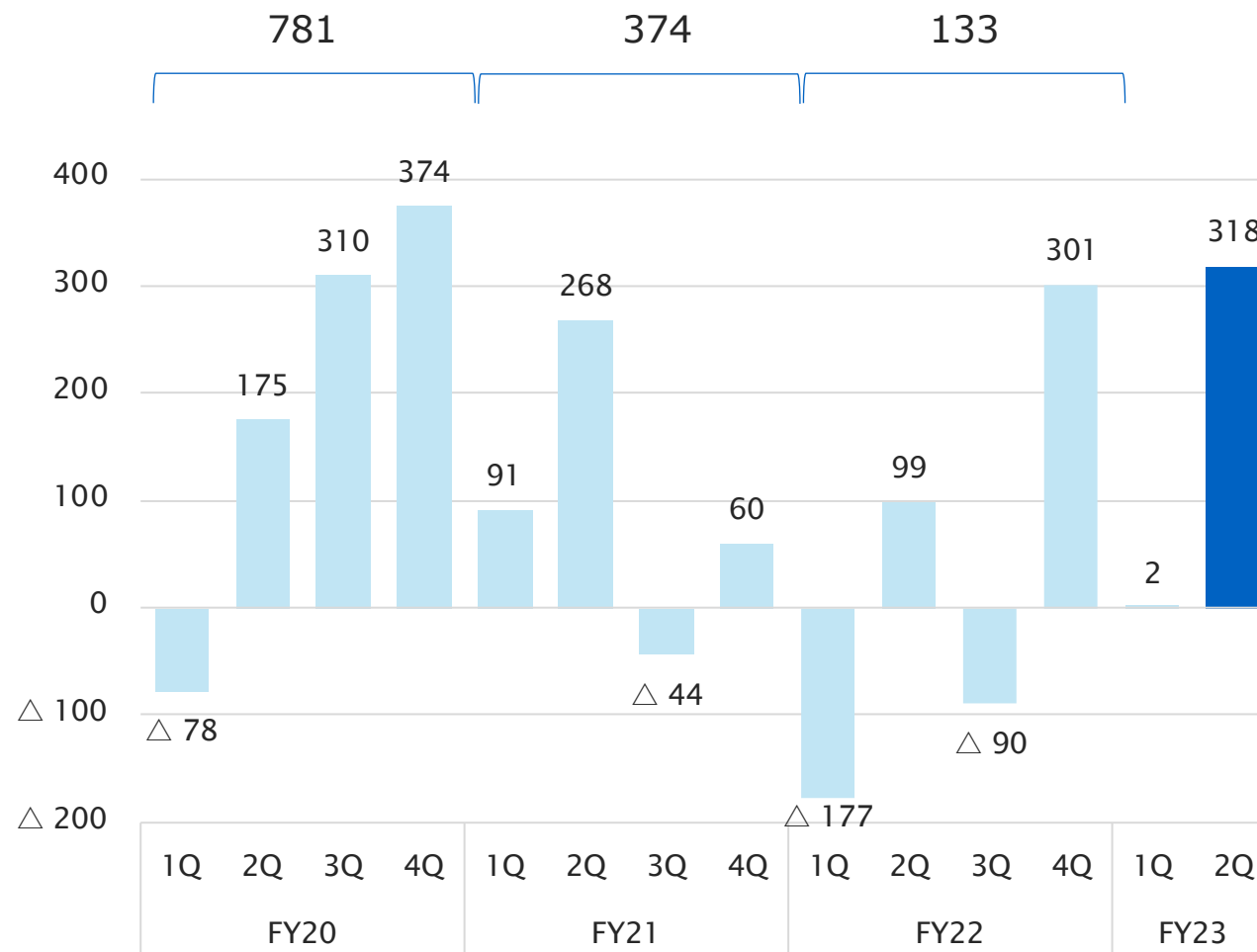


棚卸資産



営業キャッシュ・フロー

【億円】



2023年度 業績見通し | サマリー

- 業績見通しは売上高のみ上方修正、利益は期初公表を据え置き（一部にリスク要因を織り込む）
- 為替前提はUSドルのみ変更
- 配当は年間5円（中間無配、期末5円）で据え置き

	FY23 見通し	対前回見通し			対前年			【億円】	
		前回見通し	差異	増減率	FY22 実績	差異	増減率		
売上高	11,500	11,400	+100	+ 1%	11,304	+196	+ 2%		
事業貢献利益	240	240	-	-	297	△57	△ 19%		
営業利益	180	180	-	-	△ 951	+1,131	-		
親会社の所有者に帰属する									
当期利益	40	40	-	-	△ 1,032	+1,072	-		
設備投資額	520	520	-		438	+82			
減価償却費及び償却費 *1	550	550	-		552	△2			
研究開発費	680	680	-		639	+41			
FCF	240	240	-		△ 242	+482			
投融資	60	60	-		25	+35			
								為替感応度 *2	
								売上高	営業利益
為替レート [円]									
USD	140.0	135.0	+5.0		135.5	+4.5		+32	△ 3
EUR	140.0	140.0	-		141.0	△ 1.0		+18	+6
RMB	19.0	19.0	-		19.7	△ 0.7		+34	+10

*1 IFRS16による使用权資産償却費は含まない

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

2023年度 業績見通し | セグメント別



KONICA MINOLTA

150
YEARS

【億円】

売上高	FY23 見通し	対前回見通し			対前年		
		前回見通し	差異	増減率	FY22 実績 *	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	6,030	5,900	+130	+ 2%	6,003	+27	+ 0%
プロフェッショナルプリント事業	2,600	2,550	+50	+ 2%	2,526	+74	+ 3%
ヘルスケア事業	1,410	1,400	+10	+ 1%	1,378	+32	+ 2%
インダストリー事業	1,450	1,540	△90	△ 6%	1,371	+79	+ 6%
コーポレート他	10	10	+0	+ 0%	26	△16	△ 62%
全社合計	11,500	11,400	+100	+1%	11,304	+196	+2%

事業貢献利益	FY23 見通し	率	対前回見通し			対前年				
			前回見通し	差異	増減率	FY22 実績 *	差異	増減率		
デジタルワークプレイス事業	240	4%	200	3%	+40	+ 20%	307	5%	△67	△ 22%
プロフェッショナルプリント事業	120	5%	115	5%	+5	+ 4%	151	6%	△31	△ 20%
ヘルスケア事業	△ 35	-	△ 35	-	+0	-	△ 70	-	+35	-
インダストリー事業	185	13%	220	14%	△35	△ 16%	217	16%	△32	△ 15%
コーポレート他	△ 270	-	△ 260	-	△10	-	△ 307	-	+37	-
全社合計	240	2%	240	2%	+0	+ 0%	297	3%	△57	△ 19%

営業利益	FY23 見通し	率	対前回見通し			対前年				
			前回見通し	差異	増減率	FY22 実績 (減損除く)	差異	増減率		
デジタルワークプレイス事業	210	3%	170	3%	+40	+ 24%	244	4%	△34	△ 14%
プロフェッショナルプリント事業	115	4%	110	4%	+5	+ 5%	144	6%	△29	△ 20%
ヘルスケア事業	△ 40	-	△ 40	-	+0	-	△ 80	-	+40	-
インダストリー事業	185	13%	210	14%	△25	△ 12%	216	16%	△31	△ 14%
コーポレート他	△ 290	-	△ 270	-	△20	-	△ 309	-	+19	-
全社合計	180	2%	180	2%	+0	+ 0%	215	2%	△35	△ 16%

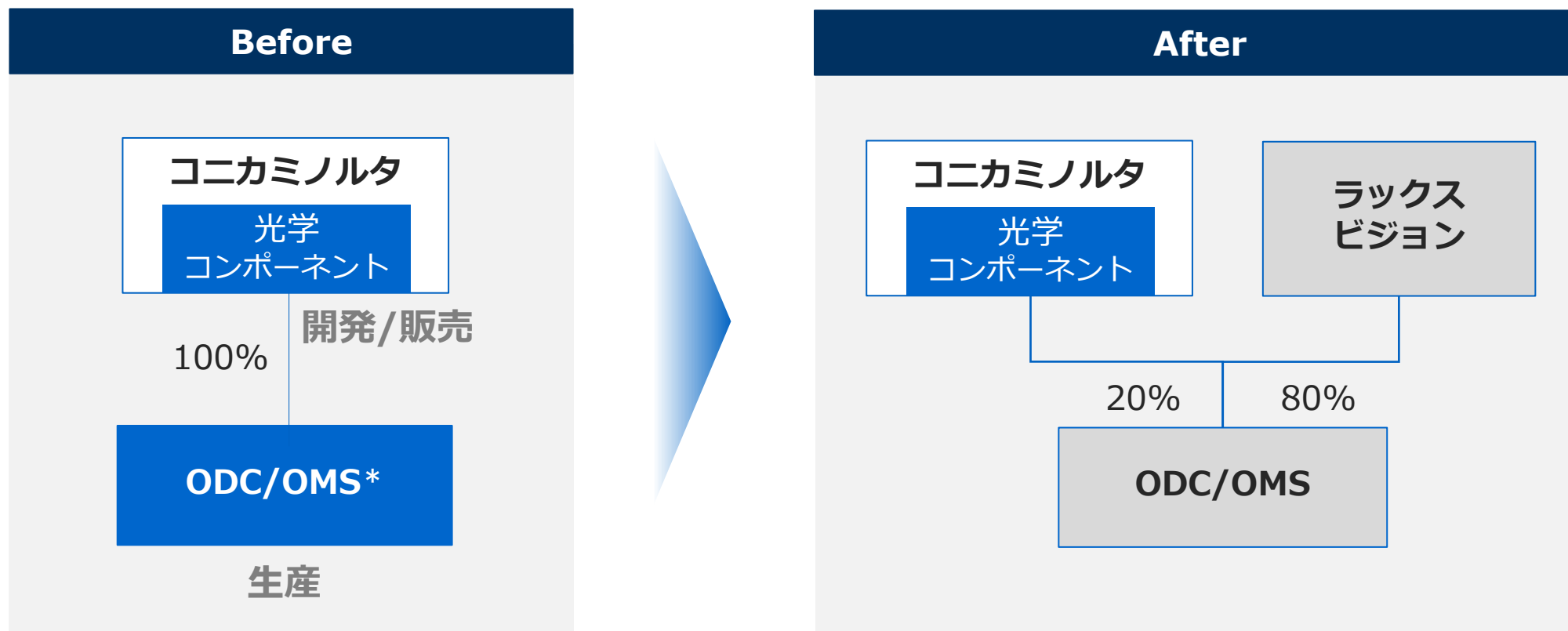
* FY22 実績：FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

インダストリー事業の 中期経営計画における進捗



光学コンポーネントにおけるラックスビジョン*との戦略的業務提携

- ラックスビジョン：中国広州に本社を置く大手電子部品メーカーで、カメラモジュールを中心にグローバル展開
- ラックスビジョンにコニカミノルタの中国生産子会社2社の持分を80%譲渡



*ラックスビジョン: 広州ラックスビジョンズイノベーションテクノロジー有限公司

*ODC: Konica Minolta Opto (Dalian) Co., Ltd.の略

*OMS: Konica Minolta Optical Products (Shanghai) Co., Ltd.の略

ものづくりサプライチェーンの川上～川中の 精密ソリューションプロバイダーとして真っ先に声がかかる存在へ

これまでのインダストリー事業

- 中規模安定市場×高シェア×高収益を成功要因として事業群を構築
- 「製品」を軸とした事業推進

センシング

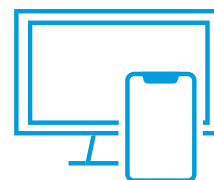
機能材料

光学
コンポーネント

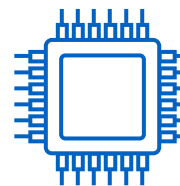
IJ (インクジェット)
コンポーネント

これからのインダストリー強化領域

- 成功要因を満たし、将来のグローバル経済を牽引する領域への進出・強化
- 従来の製品軸の組織から、顧客 (=産業) 軸の組織への転換



ディスプレイ



半導体製造



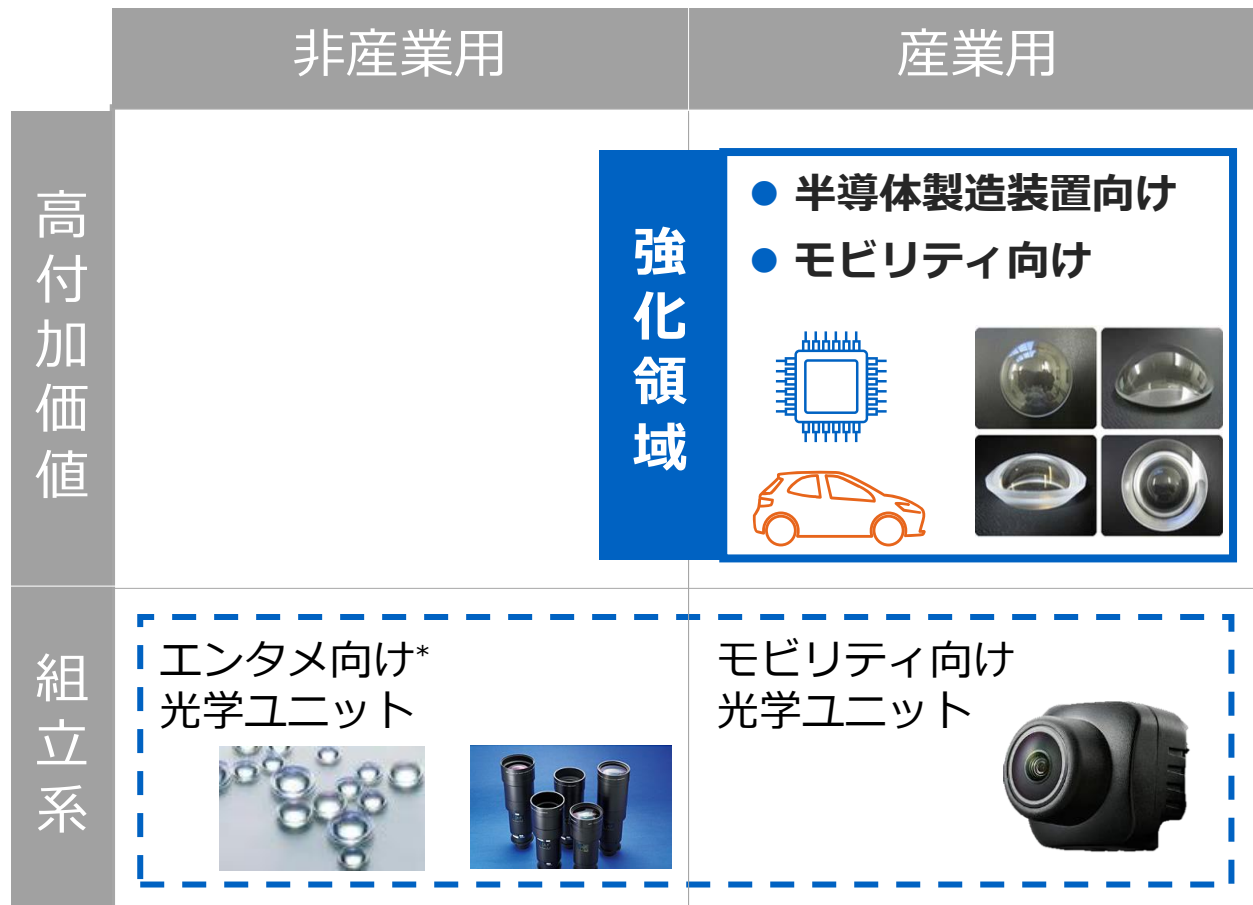
モビリティ

2023年



成長にむけた注力事業への
『経営資本 (人財・キャッシュ) の優先配分』

- 技術と顧客接点を活かし、差別化し得る半導体やモビリティなど産業用途での高付加価値領域へシフト
- 戦略的業務提携による体制の最適化を実行し、顧客の進化・多様性に応じた新たな価値の提供を目指す



方針

経営資本の優先配分

体制の最適化

- 産業用: 提携による顧客接点拡大と開発生産連携
- 非産業用: 当社にて開発販売を継続、2つの子会社の生産担当分を委託生産化

* エンタメ向け：プロジェクター用光学ユニット、光ディスク用ピックアップレンズ、カメラ用交換レンズなど

【譲渡関連】

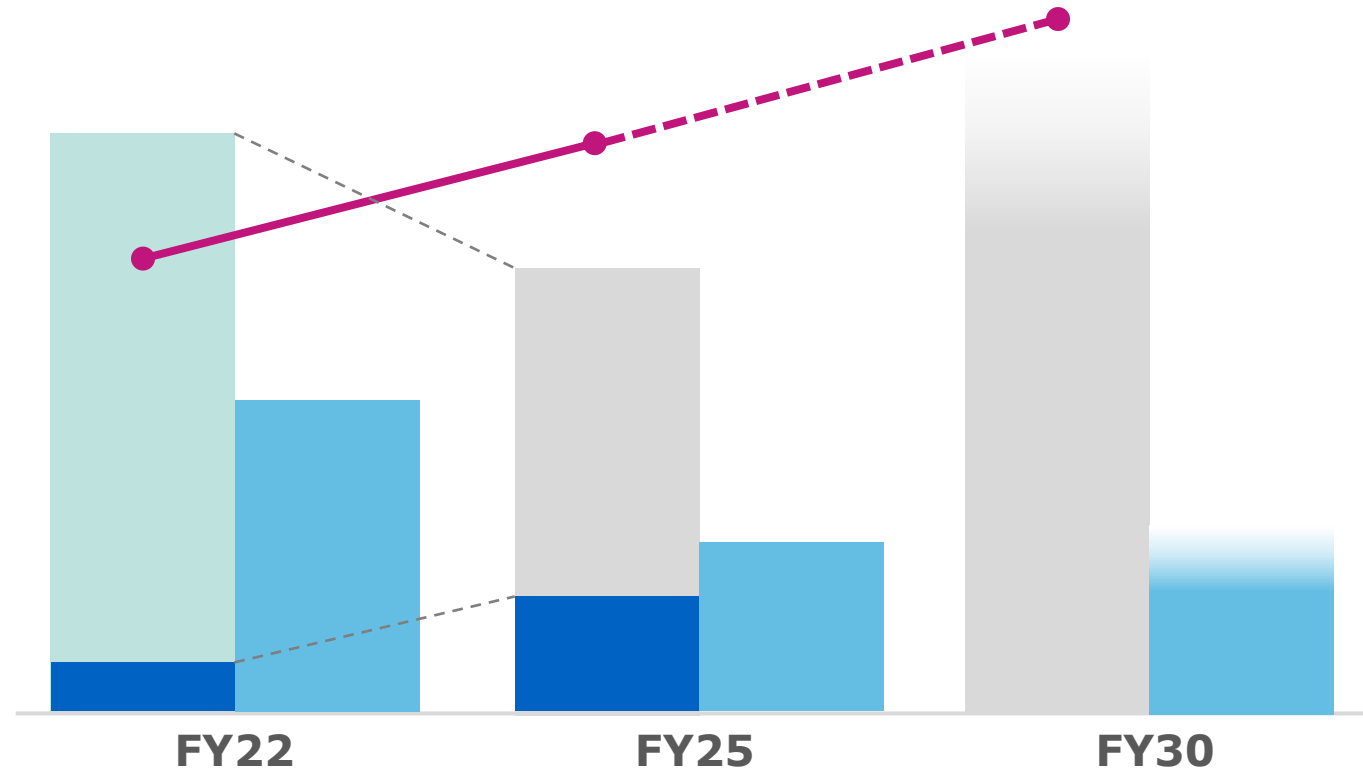
- 中国生産子会社2社はラックスビジョンへの持分譲渡により持分法適用会社へ
- 譲渡価格：基本価額となる95億円に運転資本等に係る調整を実施後に確定、23年度損益への影響は軽微
- 持分譲渡実行：2024年1月以降(予定)

【光学コンポーネント事業】

- 光学コンポーネント事業は対中期計画でFY25まで売上高は減少するものの増益を見込む
- 資産効率の改善とともに、注力領域である産業用途の成長により、中長期の営業利益率改善を狙う

光学コンポーネント
売上高

- 組立系
- 産業用高付加価値
- 固定費
- 営業利益率





コア技術と顧客接点を最大限に活かせる高付加価値領域に注力

サステナビリティの 取り組み



各種レポートの発行

- 統合報告書2023 ([リンク](#))
- サステナビリティレポート2023 ([リンク](#))
- テクノロジーレポート2023 ([リンク](#))

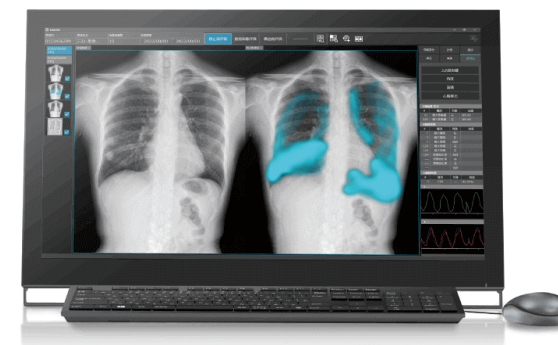


X線動画解析ワークステーション「KINOSIS」が2023年度グッドデザイン賞を受賞

～コニカミノルタ独自の技術「X線動態解析」により診断価値向上に貢献～

【審査委員の評価コメント】

世界で初めて、生体の動きを可視化するX線動画解析システムである。とくに本システムは、約15年もの長い時間をかけ、医療現場と真摯に共創・研究した結果生まれてきたものであり、**医療分野におけるあらたなスタンダードをデザインするとはこういうことなのだ**という、お手本としたい試みである。頭が下がる想いであり、敬意を抱くシステムであり、まさにグッドデザインにふさわしい。**今後のさらなる社会実装を強く期待したい。**



Konica Minolta Day ～サステナビリティ説明会～

- **日時**：2023年12月12日（火）13:30-17:00 オンラインと会場のハイブリッド開催
- **アジェンダ**：

テーマ	登壇者（予定）		
サステナビリティ経営	代表執行役社長 兼 CEO		大幸 利充
人財	常務執行役		岡 慎一郎
環境	経営企画部 サステナビリティ Gr. リーダー		徳地 雅広
技術	常務執行役		江口 俊哉
知的財産	知的財産部	部長	牧野 元博
社外取締役	社外取締役	取締役会議長	程 近智
パネルディスカッション	社外取締役	監査委員会 委員長	佐久間 総一郎
	社外取締役	報酬委員会 委員長	峰岸 真澄



KONICA MINOLTA

150

YEARS

APPENDIX

開示しておりました一部資料はウェブ上の開示に変更しました。以下よりダウンロードしてご確認ください。

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2024/2024_2q_presentation_supplementary.xlsx



デジタル ワークプレイス

- **ハード**：独仏での市況悪化懸念あるも北米、国内は堅調維持、中国景気低迷による需要減
- **ノンハード**：ワークスタイル変化は続くも、オフィス出社率回復や再販における流通在庫消化等により、ノンハード売上減少は限定的
- **IT/DX**：需要堅調

プロフェッショナル プリント

- デジタル印刷へのシフトは不変
- **ハード**：欧州・中国の景気減速による商談長期化
- **ノンハード**：中堅・大手がけん引しプリント量需要増、インド・中国市場がけん引

インダストリー

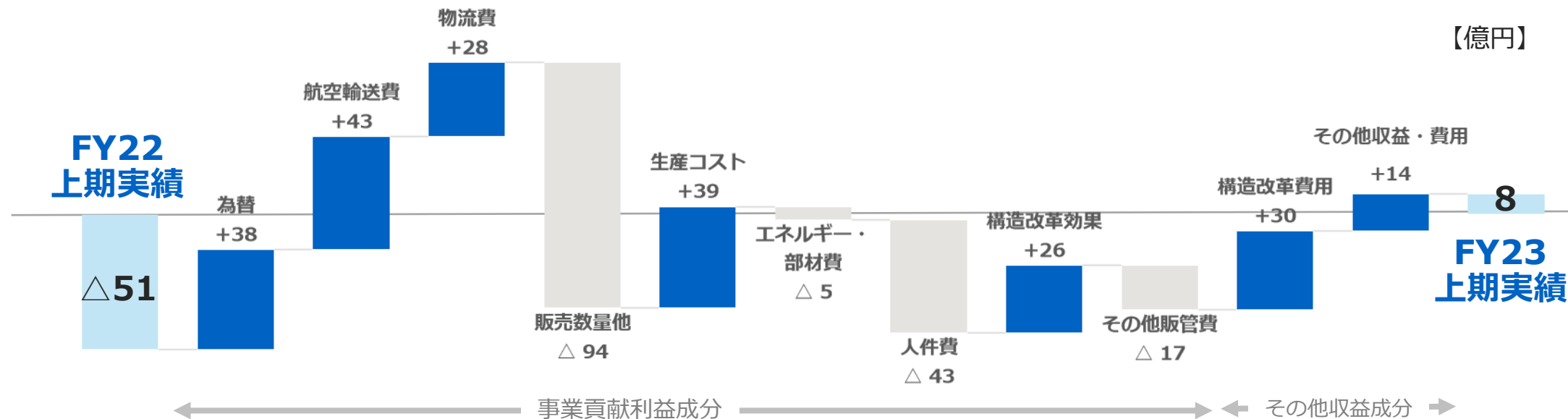
[ディスプレイ領域]

- **フィルム**：TV向けは前年度の市場の在庫調整影響から上期は回復したものの、最終製品需要の低下により下期以降は減速見通し。当社薄膜フィルムのIT/モバイル向けは市場の在庫調整が進捗するも、巣ごもり需要の反動落ち込みから依然横ばい状態。
- **光源色計測**：ディスプレイ設備投資抑制の影響を受け需要が低調。ただし足元では改善が見られ、下期後半から24年度に向けて需要回復の兆し

ヘルスケア

- **メディカルイメージング**：医療およびITサービスの質の向上や効率化ニーズ増、コロナ補助金による需要増の反動（日本）、景気後退懸念による設備投資抑制傾向（米国）
- **プレジジョンメディシン**：コロナ影響からの緩やかな回復傾向

2023年度 2Q業績 | 営業利益の増減要因 (上期)

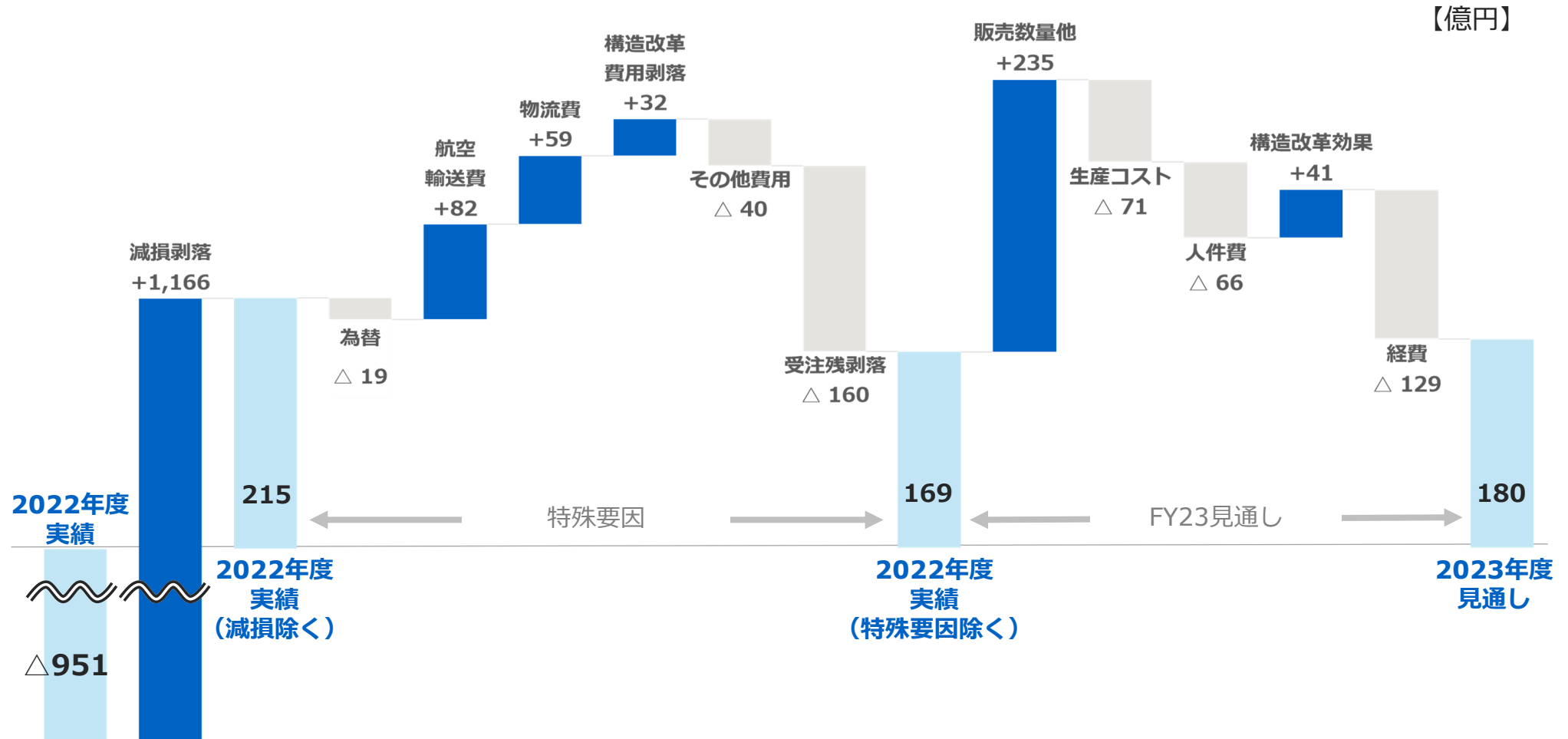


	FY22 上期実績	為替	航空輸送費	物流費	販売数量他	生産コスト	エネルギー・部材費	人件費	構造改革効果	その他販管費	構造改革費用	その他収益・費用	FY23 上期実績
デジタルワーク	27	+22	+33	+28	△55	+28	+4	△29	+22	△18	+29	+10	100
プレイス事業	35	+15	+10	-	△24	+2	+2	△8	-	+1	-	+4	37
プロフェッショナル													
プリント事業	△86	△3	-	-	+25	+8	△2	△2	+4	+7	+1	+5	△43
ヘルスケア事業	121	+5	-	-	△39	+0	△9	△4	-	△16	-	△4	55
インダストリー事業	△149	△1	-	-	△1	-	-	△0	-	+9	-	+0	△142
コーポレート他													
合計	△51	+38	+43	+28	△94	+39	△5	△43	+26	△17	+30	+14	8

2023年度 業績見通し | 営業利益の増減要因 (再掲)

【ポイント】

- FY22特殊要因：航空輸送費、物流費、構造改革費剥落、生産影響含む受注残剥落
- FY23見通し：数量増、価格対応、コスト増



【億円】

	FY23 上期	対前年		FY23 2Q	対前年	
		FY22 上期	前期比		FY22 2Q	前期比
売上高	5,528	5,307	+4%	2,864	2,829	+1%
売上総利益	2,372	2,260	+5%	1,253	1,213	+3%
(売上総利益率)	42.9%	42.6%	+0.3pt	43.8%	42.9%	+0.9pt
販売管理費	2,350	2,253	+4%	1,190	1,146	+4%
事業貢献利益	23	7	+211%	64	67	△4%
(事業貢献利益率)	0.4%	0.1%		2.2%	2.4%	
その他収益・費用	△ 15	△ 59	-	△ 12	△ 8	-
営業利益	8	△ 51	-	52	59	△11%
(営業利益率)	+0.1%	-		1.8%	2.1%	
金融収支	△ 44	22	-	△ 31	△ 13	-
税引前利益	△ 37	△ 31	-	20	45	△54%
(税引前利益率)	-	-		0.7%	1.6%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 45	△ 67	-	11	20	△46%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	-	-	-	0.4%	0.7%	-
EPS (円)	△ 9.09	△ 13.66		2.17	4.03	
設備投資額	189	179		111	95	
減価償却費及び償却費 *	271	278		138	140	
研究開発費	325	311		164	159	
FCF	94	△ 254		202	△ 5	
投融资	7	16		7	7	
為替レート [円] USD	141.00	133.97	+7.03	144.62	138.37	+6.25
EUR	153.39	138.73	+14.66	157.30	139.34	+17.96

*IFRS16による使用権資産償却費は含まない

【億円】

前年同期比 (FY23上期 vs FY22上期)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
[営業利益]						
為替影響	+22	+15	△3	+5	△1	+38
数量増減他	+3	△13	+31	△49	△1	△29
価格対応	+12	+4	+0	+2	-	+19
経費増減	△3	△8	+9	△20	+9	△13
その他収益費用	+39	+4	+6	△4	+0	+44
合計	+73	+2	+43	△66	+7	+59

前年同期比 (FY23/2Q vs FY22/2Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
[営業利益]						
為替影響	+17	+10	△1	+2	+0	+28
数量増減他	△19	△19	+12	△9	△1	△37
価格対応	+2	+1	-	△1	-	+3
経費増減	+9	△0	+2	△10	+2	+2
その他収益費用	+1	△0	+1	△5	△1	△4
合計	+11	△8	+14	△23	+0	△7

販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

【億円】

	FY23 上期	対前年		FY23 2Q	対前年	
		FY22 上期	前期比		FY22 2Q	前期比
販売管理費						
販売変動費	223	252	△29	113	125	△12
研究開発費	325	311	+14	164	159	+6
人件費	1,154	1,070	+84	586	548	+37
その他	647	619	+28	327	315	+12
販売管理費 計	2,350	2,253	+97	1,190	1,146	+44
*為替影響額 :	96億円 (除く為替 +1億円)			52億円 (除く為替 △8億円)		
その他の収益						
保険金収入	3	12	△8	3	2	+1
その他収益	24	17	+7	10	9	+1
その他の収益 計	28	29	△1	13	11	+2
その他の費用						
有形固定資産及び無形資産除売却損	11	4	+7	11	4	+7
事業構造改善費用	8	36	△29	2	1	+0
訴訟和解金	-	16	△16	-	-	-
その他費用	24	31	△7	13	14	△1
その他の費用 計	43	88	△45	25	19	+6
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 50	△ 23	△27	△ 26	△ 13	△13
為替差損益	8	43	△35	△ 7	1	△8
その他	△ 2	1	△3	2	△ 1	+3
金融収支 計	△ 44	22	△65	△ 31	△ 13	△18

【億円】

	FY21 上期	FY22 上期	FY23 上期
税引前四半期利益（△は損失）	△ 27	△ 31	△ 37
減価償却費及び償却費	378	377	378
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	218	11	285
棚卸資産の増減（△は増加）	15	△ 392	169
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△ 143	66	△ 257
その他	△ 82	△ 109	△ 217
営業活動によるキャッシュ・フロー	359	△ 78	320
有形固定資産の取得による支出	△ 183	△ 106	△ 115
無形資産の取得による支出	△ 89	△ 88	△ 90
子会社株式の取得による支出	-	△ 7	△ 14
その他	33	25	△ 7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 239	△ 176	△ 226
フリー・キャッシュ・フロー	119	△ 254	94

【億円】

	22年3月	23年3月	23年9月
現金及び現金同等物	1,177	1,806	1,110
営業債権及びその他の債権	2,802	3,135	3,160
棚卸資産	1,857	2,421	2,419
その他の流動資産	353	414	445
流動資産合計	6,189	7,776	7,134
有形固定資産	2,877	2,891	2,943
のれん及び無形資産	3,541	2,589	2,776
その他の非流動資産	774	882	926
非流動資産合計	7,193	6,362	6,644
資産合計	13,381	14,138	13,778

	22年3月	23年3月	23年9月
営業債務及びその他の債務	1,821	2,005	1,910
社債及び借入金	3,543	4,691	3,964
リース負債	943	992	1,030
その他の負債	1,459	1,451	1,530
負債合計	7,766	9,139	8,434
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,498	4,874	5,204
非支配持分	117	125	140
資本合計	5,615	4,999	5,344
負債及び資本合計	13,381	14,138	13,778

	22年3月	23年3月	23年9月
自己資本比率(%)	41.1	34.5	37.8
格付け評価用自己資本比率(%)	44.8	37.9	41.3
D/Eレシオ	0.82	1.17	0.96

主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】
【影響額、感応度：億円】

	FY22	FY23	対前年影響額		為替感応度*2	
	上期	上期	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	133.97	141.00	+107	△ 6	+32	△ 3
ユーロ	138.73	153.39	+115	+44	+18	+6
ポンド	162.89	177.49	+18	△ 0	+3	+1
欧州通貨*1	-	-	+144	+45	+26	+9
人民元	19.89	19.75	△ 2	+1	+34	+10
その他	-	-	+10	+0	-	-
予約影響額	-	-	-	△ 2	-	-
合計	-	-	+258	+38	-	-

*1欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

2023年度 2Q業績 | 事業セグメント別実績 (対前年)

【億円】

売上高	FY23 上期	対前年			対前年 (調整後) *			FY23 2Q	対前年			対前年 (調整後) *		
		FY22 上期	前期比	為替影響を除く	FY22 上期	前期比	為替影響を除く		FY22 2Q	前期比	為替影響を除く	FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	2,945	2,785	+ 6%	△ 0%	2,785	+ 6%	△ 0%	1,512	1,496	+ 1%	△ 5%	1,496	+ 1%	△ 5%
プロフェッショナルプリント事業	1,240	1,199	+ 3%	△ 1%	1,199	+ 3%	△ 1%	638	648	△ 1%	△ 6%	648	△ 1%	△ 6%
ヘルスケア事業	639	640	△ 0%	△ 3%	640	△ 0%	△ 3%	345	353	△ 2%	△ 5%	353	△ 2%	△ 5%
インダストリー事業	694	675	+ 3%	△ 1%	673	+ 3%	△ 0%	362	325	+ 11%	+ 7%	325	+ 11%	+ 8%
コーポレート他	10	10	+ 4%	+ 4%	11	△ 8%	△ 8%	6	7	△ 9%	△ 9%	7	△ 19%	△ 19%
全社合計	5,528	5,307	+ 4%	△ 1%	5,307	+ 4%	△ 1%	2,864	2,829	+ 1%	△ 4%	2,829	+ 1%	△ 4%

事業貢献利益	FY23 上期	率	対前年			対前年 (調整後) *			FY23 2Q	率	対前年			対前年 (調整後) *		
			FY22 上期	前期比	為替影響を除く	FY22 上期	前期比	為替影響を除く			FY22 2Q	前期比	為替影響を除く	FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	107	4%	11	+ 854%	+ 657%	73	+ 48%	+ 17%	84	6%	46	+ 57%	+ 43%	74	+ 12%	△ 11%
プロフェッショナルプリント事業	36	3%	54	△ 32%	△ 60%	38	△ 5%	△ 45%	28	4%	42	△ 8%	△ 56%	36	△ 22%	△ 49%
ヘルスケア事業	△ 40	-	△ 82	-	-	△ 78	-	-	△ 8	-	△ 23	-	-	△ 21	-	-
インダストリー事業	60	9%	108	△ 44%	△ 49%	122	△ 51%	△ 55%	34	10%	45	+ 169%	△ 30%	52	△ 34%	△ 40%
コーポレート他	△ 141	-	△ 83	-	-	△ 148	-	-	△ 75	-	△ 44	-	-	△ 76	-	-
全社合計	23	0%	7	+ 211%	△ 312%	7	+ 211%	△ 312%	64	2%	67	△ 89%	△ 47%	67	△ 4%	△ 47%

営業利益	FY23 上期	率	対前年			対前年 (調整後) *			FY23 2Q	率	対前年			対前年 (調整後) *		
			FY22 上期	前期比	為替影響を除く	FY22 上期	前期比	為替影響を除く			FY22 2Q	前期比	為替影響を除く	FY22 2Q	前期比	為替影響を除く
デジタルワークプレイス事業	100	3%	△ 34	-	-	27	+ 266%	+ 187%	80	5%	42	△ 34%	+ 51%	70	+ 15%	△ 10%
プロフェッショナルプリント事業	37	3%	50	△ 27%	△ 57%	35	+ 5%	△ 38%	27	4%	41	△ 15%	△ 57%	36	△ 24%	△ 51%
ヘルスケア事業	△ 43	-	△ 90	-	-	△ 86	-	-	△ 9	-	△ 25	-	-	△ 23	-	-
インダストリー事業	55	8%	107	△ 48%	△ 54%	121	△ 54%	△ 59%	29	8%	45	+ 171%	△ 42%	52	△ 45%	△ 50%
コーポレート他	△ 142	-	△ 84	-	-	△ 149	-	-	△ 76	-	△ 44	-	-	△ 76	-	-
全社合計	8	0%	△ 51	-	-	△ 51	-	-	52	2%	59	-	△ 60%	59	△ 11%	△ 60%

* FY22実績 (調整後) : FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

セグメント別四半期推移

【億円】

【売上高】	FY22 *					FY23	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	1,289	1,496	1,587	1,631	6,003	1,433	1,512
オフィス	1,109	1,290	1,377	1,416	5,191	1,226	1,291
DW-DX	180	206	209	216	811	207	221
プロフェッショナルプリント事業	551	648	651	677	2,526	602	638
プロダクションプリント	355	417	429	419	1,619	377	410
産業印刷	60	82	72	110	323	77	94
マーケティングサービス	136	149	151	148	584	148	134
ヘルスケア事業	287	353	329	409	1,378	293	345
メディカルイメージング	191	250	213	291	946	180	221
プレシジョンメディシ	95	103	116	118	433	113	124
インダストリー事業	349	325	331	366	1,371	332	362
センシング	135	114	113	108	469	91	98
機能材料	113	80	83	116	392	114	128
IJコンポーネント	37	42	47	45	171	45	47
光学コンポーネント	36	54	54	53	198	47	48
画像IoTソリューション	19	25	26	27	98	27	31
映像ソリューション	8	9	9	18	43	8	10
コーポレート他	3	7	5	10	26	4	6
全社合計	2,478	2,829	2,903	3,094	11,304	2,664	2,864

* FY22 実績：FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

【億円】

【事業貢献利益】	FY22 *					FY23	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	△ 2	74	94	140	307	24	84
プロフェッショナルプリント事業	2	36	55	57	151	8	28
ヘルスケア事業	△ 57	△ 21	△ 4	11	△ 70	△ 32	△ 8
インダストリー事業	70	52	41	55	217	26	34
コーポレート他	△ 72	△ 76	△ 84	△ 75	△ 307	△ 66	△ 75
全社合計	△ 59	67	102	188	297	△ 41	64

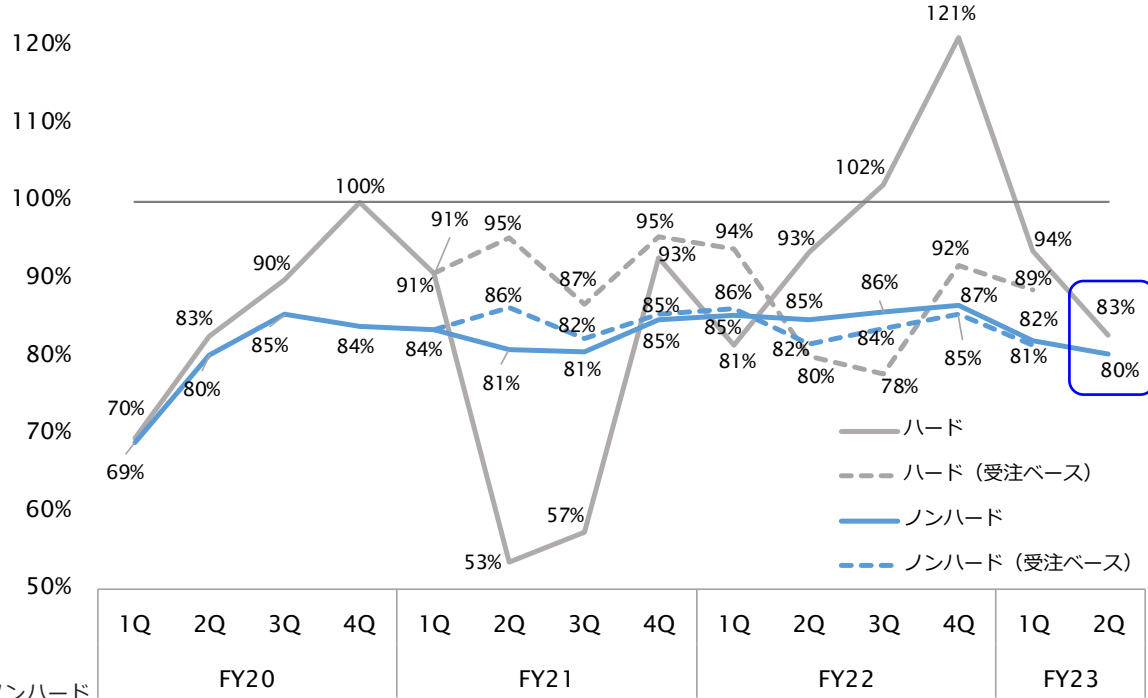
【営業利益】	FY22 *					FY23	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	△ 43	70	80	108	215	20	80
プロフェッショナルプリント事業	△ 1	36	54	47	136	9	27
ヘルスケア事業	△ 63	△ 23	△ 4	△ 1,025	△ 1,115	△ 34	△ 9
インダストリー事業	70	52	40	△ 26	135	27	29
コーポレート他	△ 73	△ 76	△ 84	△ 88	△ 321	△ 66	△ 76
全社合計	△ 110	59	85	△ 985	△ 951	△ 44	52

* FY22 実績：FORXAIの組替、本社費等配賦調整後の値

受注残は通常の水準まで解消

(2019年度を100%とした場合)

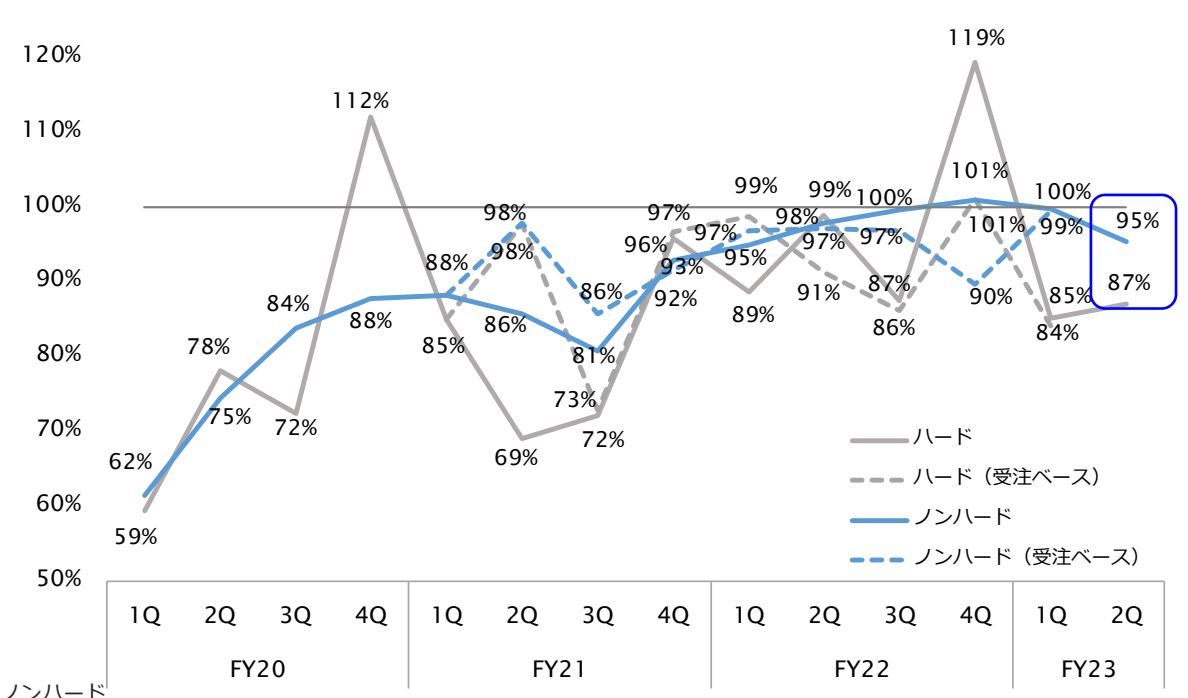
オフィス



ノンハード
地域別

日本	85%	90%	94%	92%	92%	87%	91%	89%	89%	87%	89%	89%	88%	84%
米国	62%	73%	78%	81%	77%	75%	74%	82%	77%	80%	81%	82%	71%	74%
欧州	66%	82%	83%	78%	83%	82%	77%	82%	87%	82%	78%	87%	82%	78%
中国	107%	105%	115%	140%	109%	111%	75%	110%	114%	107%	104%	127%	108%	134%
インド	52%	68%	98%	113%	73%	103%	127%	108%	143%	128%	159%	144%	180%	149%
合計	69%	80%	85%	84%	84%	81%	81%	85%	85%	85%	86%	87%	82%	80%

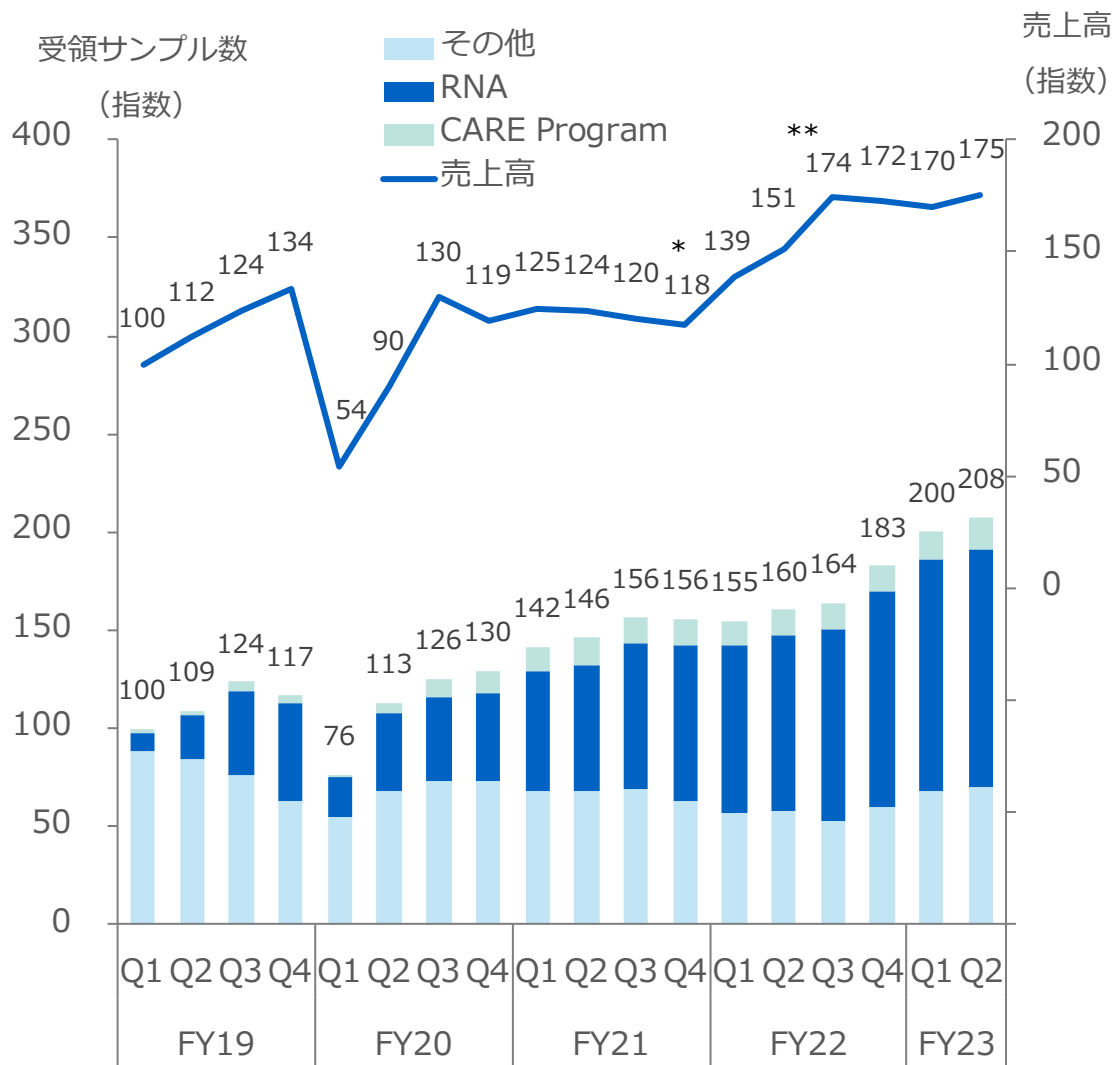
プロダクションプリント



ノンハード
地域別

日本	76%	82%	88%	87%	81%	76%	66%	78%	75%	72%	77%	80%	76%	77%
米国	52%	67%	77%	82%	76%	75%	76%	90%	81%	83%	86%	82%	75%	71%
欧州	64%	77%	79%	78%	88%	94%	77%	86%	98%	105%	96%	97%	95%	91%
中国	113%	117%	140%	138%	176%	138%	98%	127%	120%	143%	144%	196%	204%	200%
インド	34%	71%	105%	113%	83%	107%	121%	114%	136%	127%	152%	140%	180%	160%
合計	62%	75%	84%	88%	88%	86%	81%	93%	95%	98%	100%	101%	100%	95%

Ambry社 売上高および受領サンプル数推移

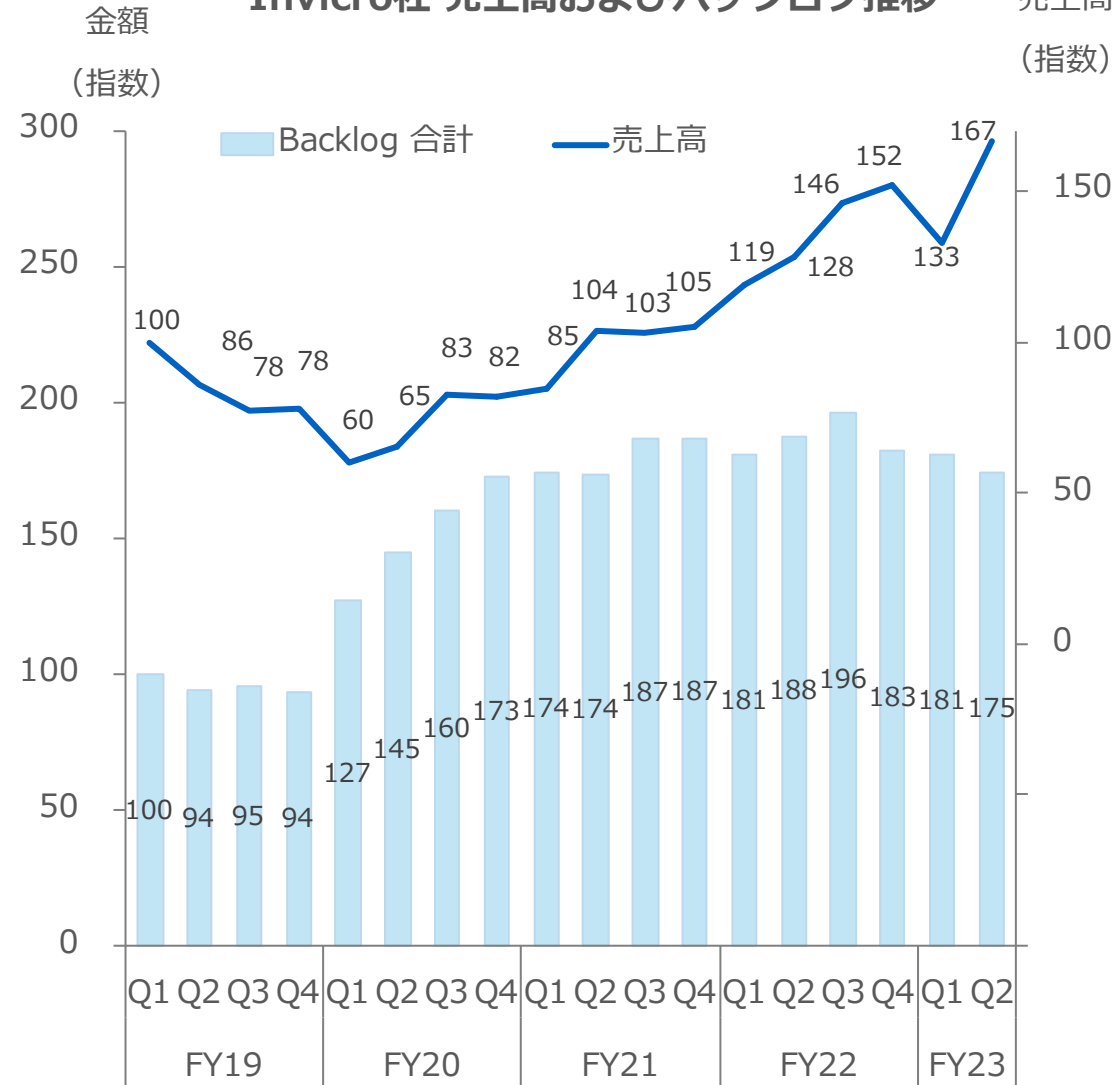


* 売掛金/売上高減額前
** 売掛金/売上高修正を反映

FY19 1Qを100とした時の指数/売上高は円貨ベース

バックログ

Invicro社 売上高およびバックログ推移



2023年3月まで	
デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ DW-DX(DW-DX)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	センシング
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料(PM) ■ IJコンポーネント(IJ) ■ 光学コンポーネント(OC)
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS)
コーポレート他、QOL	

2023年4月から	
デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ DW-DX(DW-DX)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ センシング (SE) ■ 機能材料(PM) ■ IJコンポーネント(IJ) ■ 光学コンポーネント(OC) ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS)
コーポレート他、QOL	

- ・複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業
Seg.1 ～20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70～枚機（A4縦、分速）
- ・カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業
ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯製品
LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け製品
MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け製品
HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け製品
- ・RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業
DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。
従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することで、より精度の高い検査結果を提供することができる。
- ・CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業
遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。
- ・GenMineTOP がんゲノムプロファイリング検査：ヘルスケア事業
東京大学、国立がん研究センターとの共同研究による、腫瘍組織の遺伝子解析。
DNAだけでなくRNAも解析する、腫瘍組織だけでなく非腫瘍細胞のDNAも解析するという特徴がある。
- ・FORXAI：お客様・パートナーと共に、社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム。



KONICA MINOLTA

150

YEARS

- **本資料の記載情報**

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。